

教育センターだより【10号】

令和4年1月13日 発行



518-0485
 三重県名張市百合が丘西5番町25番地
 事務室・教育よろず相談 1F
 Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802
 E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp
 minakuru01@nabari-mie.ed.jp
 ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室(さくら教室) 2F
 Tel 0595-63-7830 Fax 0595-64-8802
 E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F
 Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

週末教育事業報告

毎回大好評で多数応募いただいている、週末教育授業の様子や感想をお伝えします。

「自然の小枝を使って工作しよう」

6月26日(土)開催

木の枝を利用してキーホルダーや置物を作りました。グルーガンや、のこぎりなど普段あまり使わない道具を使いました。



世界で一つだけの自分の作品をつくることのできた！



「切り絵のうちわをつくろう」

7月17日(土)開催

下絵と画用紙を固定し
カッターナイフを使って切り抜き、うちわに貼りました。



自分の好きな絵のうちわをつくれて時間いっぱい集中することができた。

切るのは難しかったけど、みんなが優しく教えてくれてうれしかった。



「沖縄の守り神『シーサー』をつくろう」

沖縄県などで見られる伝説の魔除け獅子『シーサー』をねんどで作りました。

7月26日(月)開催

難しかったけど、達成感が半端ない。



みんなそれぞれ違うシーサーを作っておもしろかった。



「プログラミング教室 ~micro:bitを使いプログラミングをしよう~」

「マイクロ・ビット」という小型コンピューターを使い、プログラミングを学習しました。名張青峰高等学校で体験しました。

8月3日(火)開催



ゲーム機を作って楽しかった！

「ハロウィンランプづくり」

10月9日(土)開催

名張キッズサポータークラブの皆さんとジャック・オー・ランタンを作りました。

ナイフやドリルの使い方が難しかったけど、楽しかった。



「竹あかりをつくり赤目滝をかざろう」

11月13日(土)開催

市内の竹藪から伐採した竹でランプを作り、赤目滝をライトアップする、「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」の取組に協力しました。

竹あかりプロジェクトを今後も続けてください。



飾ってもらえるのが楽しみ！



「竹あかりをつくり赤目滝をかざろう」の作品は、赤目滝に展示しています。
(1月31日(月)まで)

「年賀状の版画づくり」～発泡トレイでつくる年賀状～

家で使った発泡トレイを再利用して版画をつくり、年賀状を作成しました。
12月4日(土)開催

スタンプを作ってるみたいで楽しかった!

エシカル消費の勉強ができた!

エシカル消費とは?

自分の損得だけを考えるのではなく、環境や社会、人などに配慮されたものを選ぶなど、社会的な課題の解決につながるような消費をすること



「商店街をつくろう」～みんなでつくる名張の街並み～

発泡スチロールで自分の考えたお店をつくり、活気あふれる商店街をつくりました。
12月18日(土)開催

近大高専のお兄さんお姉さんとアイデアを話し合い、協力していい作品ができました。



「商店街をつくろう」の作品は1月末まで教育センターに展示しています。ご来館の際は、ぜひご覧ください。

3学期

「週末教育事業」予定

- ・端切れのお雛様づくり(1月29日)
- ・プログラミング教室(2月26日)
- ・切り絵のあんどん教室(3月19日)



名張市 GIGA スクール

GIGA スクール構想により、昨年度すべての市内小中学校に学習者用タブレット端末(iPad)が1人1台導入されました。本年度は「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」のモデル校10校中心に学習者用デジタル教科書、指導者用デジタル教科書が導入されています。また、小学校に大型テレビ、中学校には黒板に投影できるプロジェクターが設置されています。

名張市内の小中学校では、それらの大型提示装置、一人一台端末とクラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」を組み合わせた授業実践が進んでいます。

教育センタープロジェクト研究

市内小中学校の7名の教員と教育センター職員が、令和3年度プロジェクト研究として、「学びの保障・充実のためのデジタル教科書、デジタル教材の有効活用について～具体的な授業の展開～」をテーマに研究を進めています。



様々な補助教材を連携させながら、学習者用デジタル教科書・デジタル教材をどのように効果的に組み込んでいくか研究しています。

子どもたちの声を紹介します!

発表が苦手な子もiPadだと意見が出しやすい。

算数の図形の面積を求める時にみんなの様々な考え方を聞いたりして「他に考え方はないか」と詳しく考える力がついた。

教科書だけだと手に入る情報が少なかったけど、タブレットを使用することによって、手に入る情報量が増えた。

みんなの思っていることがわかりやすい。自分の思っていることが伝えやすい。

キュビナは学びなおしができて、自分の弱点克服になる。
(*キュビナーAIドリル)

写真やグラフを使って資料を作ることができる。発表しやすい。

主体的な活用が広がっています。

- ・発表する。
- ・調べ物をする。
- ・感想、意見を書く。表現する。
- ・データ、意見を共有する。
- ・思考を整理する。
- ・自分にあった効率的な学びをする。(AIドリル)

